

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	8 月	9 日	記入者	橋詰 輝己
調査者名	明槻	石井	久門	橋詰	
	再訪2021年3月	石井	橋詰		

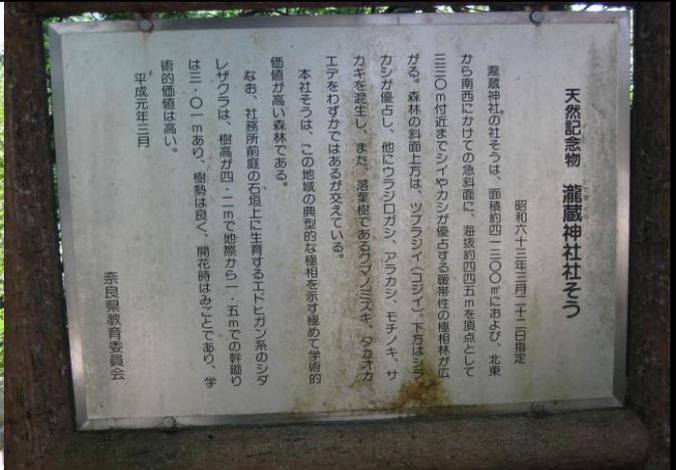
文化財名	瀧蔵(たきくら)神社社そう 附(つけたり) シダレザクラ1本				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )
指定年月日	1988年(昭和63)3月22日				
所在地	桜井市大字滝倉478-2番地				
所有者 管理者	瀧蔵神社				
員数					
時代区分					
樹木の場合	(樹木名) シダレザクラ			(樹齢) 400年	
案内板の状況	有り				
公開	自由				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足(シダレザクラは老木の為、幹と枝の数か所に支えが施してある)				
当面の課題	社そうは聖域のため自然のまま保存されている。シダレザクラは樹齢400年といわれ幹が石垣から大きく出ているので幹の支えが行われ、数本の枝も雪釣り方式で支えが行われている。当面は問題なし				
今後の課題	原生林に近い社そうは(シイ・コジイ・モチノキ・サカキなど混成)そのまま現状維持。巨樹のシダレザクラは県文化財課からの補強対策が講じられており巨樹の状態見守っていく必要がある。				
その他 (由緒など)	村の氏神さんは古来神宮司として近郷の人々の信仰の中核たる瀧蔵権現として栄え数多くの堂塔、伽藍を誇っていた。権現さまが村の一老さんの夢枕に現れ「堂の傍に枝垂桜を植えてほしい」とのお告げにより植えられたのが起源である。(権現桜保存会の説明板より)一方、住民の話では太閤秀吉の醍醐の花見の桜で使った残りザクラを柳本の殿様がここに(40本のうち)1本を植えたとの言い伝えもある。				
コメント	神社の社そうは薄暗く原生林そのもので特に問題は見られなかった。シダレザクラは樹齢400年と言われるだけ迫力のある枝垂桜である。石垣からはみ出しており、桜の花の時期には多くの観光客やカメラマンが訪れる  そうである。村の人々の心の支えにもなっているようである。花の時期にはお茶の接待もしているようである。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020 年	8 月	9 日	記入者	橋詰 輝己
調査者名	明槻	石井	久門	橋詰	
	再訪2021年3月	石井	橋詰		

文化財名	瀧蔵(たきくら)神社社そう 附(つかけたり) シダレザクラ1本
------	---------------------------------

瀧蔵神社と社そう	社そうの説明板
----------	---------



社そうの様子	満開時のシダレザクラ(2021年3月下旬)
--------	-----------------------



3年前に枝釣りを設置	石垣から伸びる幹を支え棒を20年前に設置
------------	----------------------

